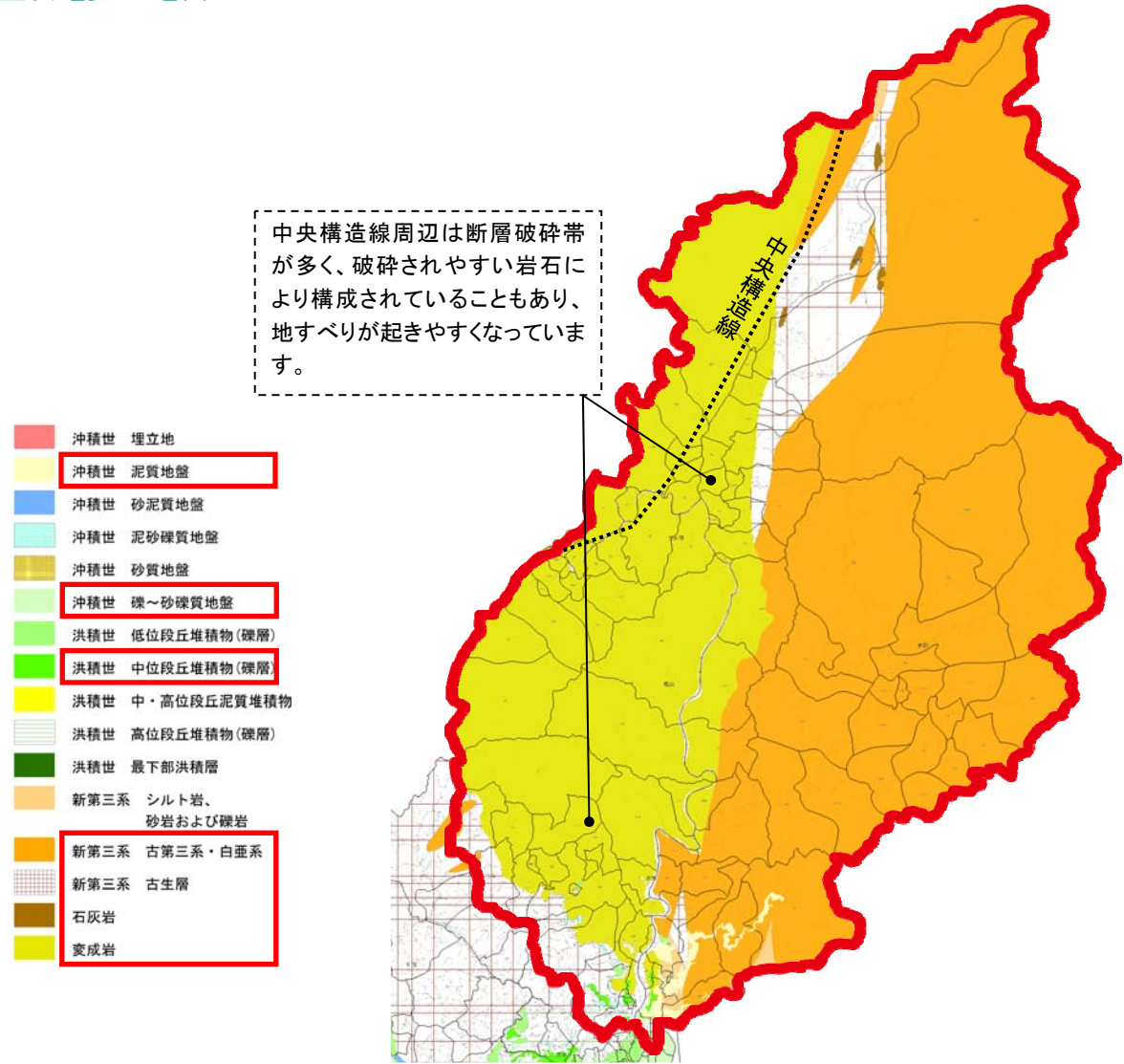


# 1. 天竜区の自然条件

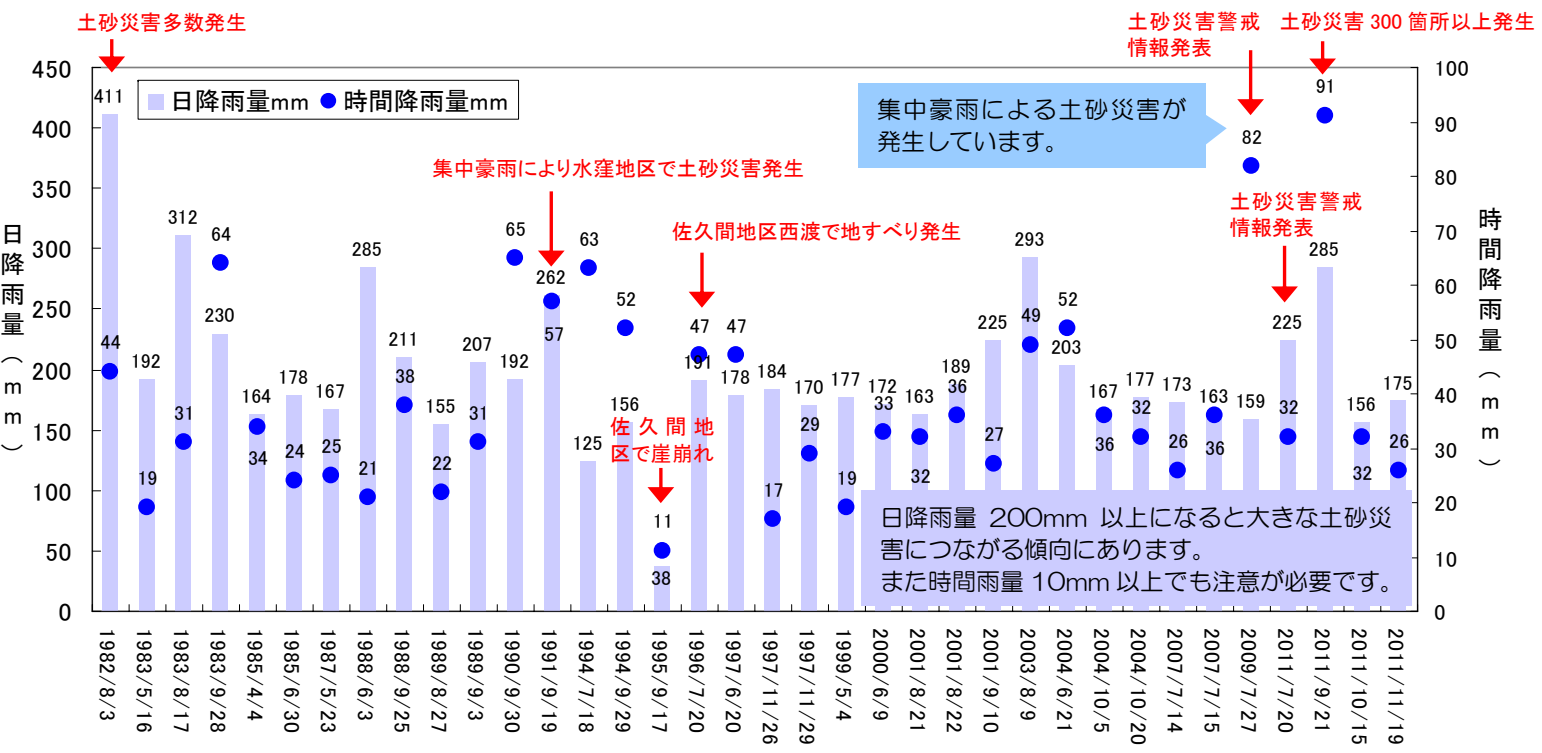
		特 徴
気 象	気 温	<p><b>天 竜</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年平均気温は 15.2℃であり、山間地に位置する割に気温が高い地域です。</li> <li>山間部特有の内陸性気候に属し、気温の日較差や年較差が大きいです。</li> </ul> <p><b>春野/佐久間/龍山/水窪</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年平均気温は 13~14℃強と県内でも気温が低い地域です。また、気温の日較差や年較差が大きいです。</li> <li>山地の影響により日照時間が約 1,900~2,000 時間と短くなっています。</li> </ul>
	降 雨 量	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間降水量は 2,200~3,000mm であり、南寄りの暖かく湿度の高い気流が山の斜面に祖って上昇しやすく、地形性降雨型で大雨が降りやすい傾向にあります。(過去 30 年間の降雨量は下表を参照)</li> </ul>
	風 向・風 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>山間盆地に位置しているため、海岸平野部に比べて風が弱くなっています。</li> </ul>
地 形		<ul style="list-style-type: none"> <li>水窪地区青崩峠から佐久間地区を斜めに「中央構造線」がとおっています。中央構造線の活動により隆起、侵食を繰り返した急峻な山岳地帯が広がっています。なお、中央構造線は活断層と推定されています。</li> <li>中央構造線の断層活動により破碎帯※が形成され、岩石の脆弱化、粘土化、風化や変質が著しく土砂災害が起こりやすくなっています。(※破碎帯：断層に沿って岩石が破壊された帯状の部分)</li> </ul>
地 質		<ul style="list-style-type: none"> <li>区の西側は主に変成岩（破碎されやすい岩石）で構成されており、中央構造線の地殻変動により変成岩が破碎されています。</li> <li><b>⇒このため、特に中央構造線周辺において地すべり地帯が分布しており、土砂災害に対して注意が必要な地域です。</b></li> <li>区の東側は主に中生代や古第三紀の地層から構成されています。これら地層のうち周辺の断層活動により風化や破碎による粘土化が進むところもあります。</li> <li><b>⇒このため、粘土地層が降雨により水を含むことで発生する地すべりや、岩石の風化による崖崩れ発生の恐れがあります。</b></li> <li>(※地質・地形と土砂災害の関係は次頁を参照)</li> </ul>

## ■天竜区の地質



第三次被害想定 表層地質図 (資料：浜松防災マップに加筆)

## ■過去30年間の降雨量 (天竜区熊における日降水量 150mm 以上もしくは時間降水量 60mm 以上)



**【沖積世 泥質地盤】**

- 地下水位が高く、緩いところでは液状化現象が発生する恐れがある。

**【沖積世 礫～砂礫質地盤】**

- 比較的強い地盤である。

**【洪積世 中位段丘堆積物(礫層)】**

- 締まった地盤でほとんど問題はなく、良好な基礎地盤だが、風化が進んだ部分では注意が必要である。

**【新第三系 古第三系・白亜系/新第三系 古生層/石灰岩】**

- 全体に硬い岩石からなる地盤である。しかし、断層により弱くなっている部分や風化土層の厚いところ及び山地斜面上では、地すべり・山崩れを起こす恐れがある。

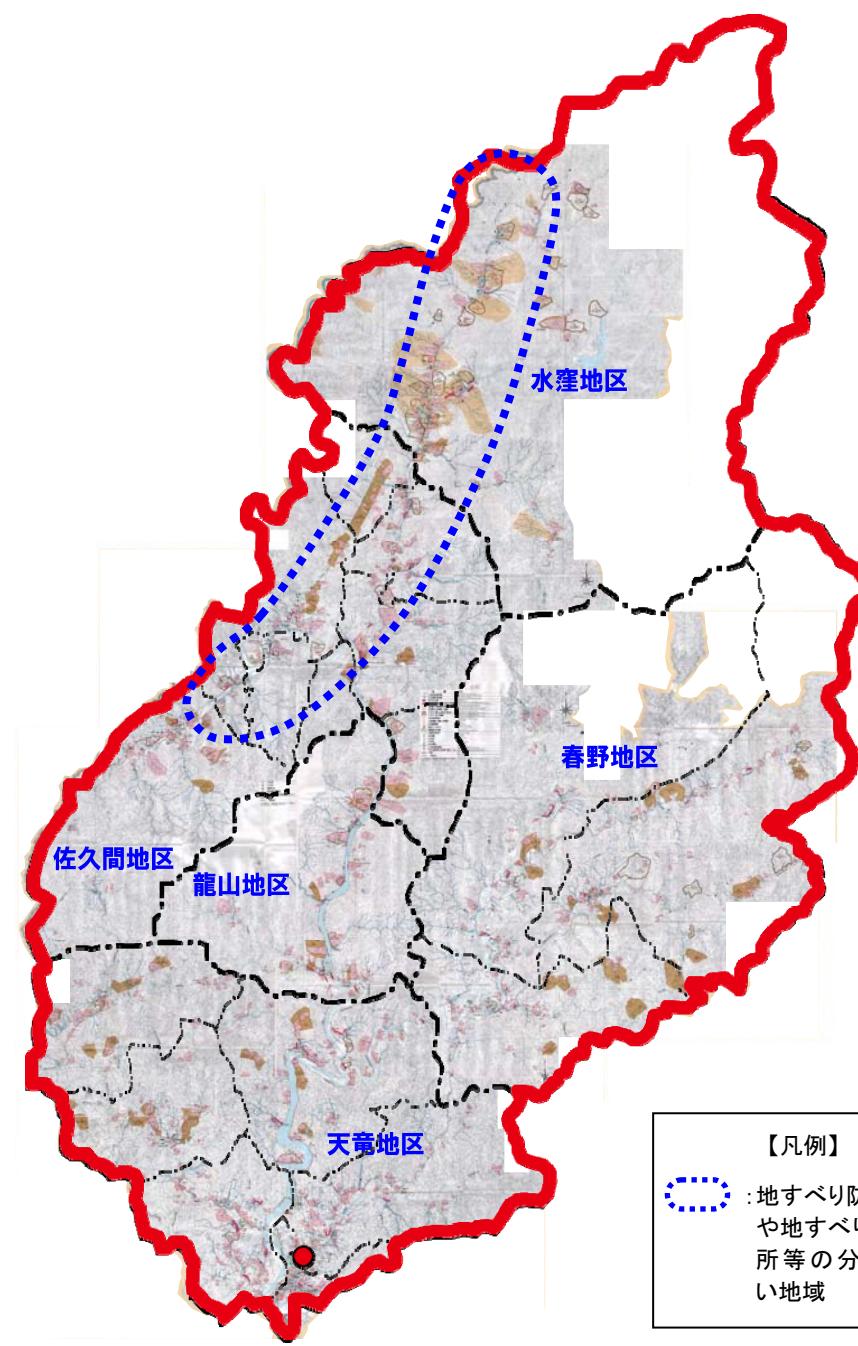
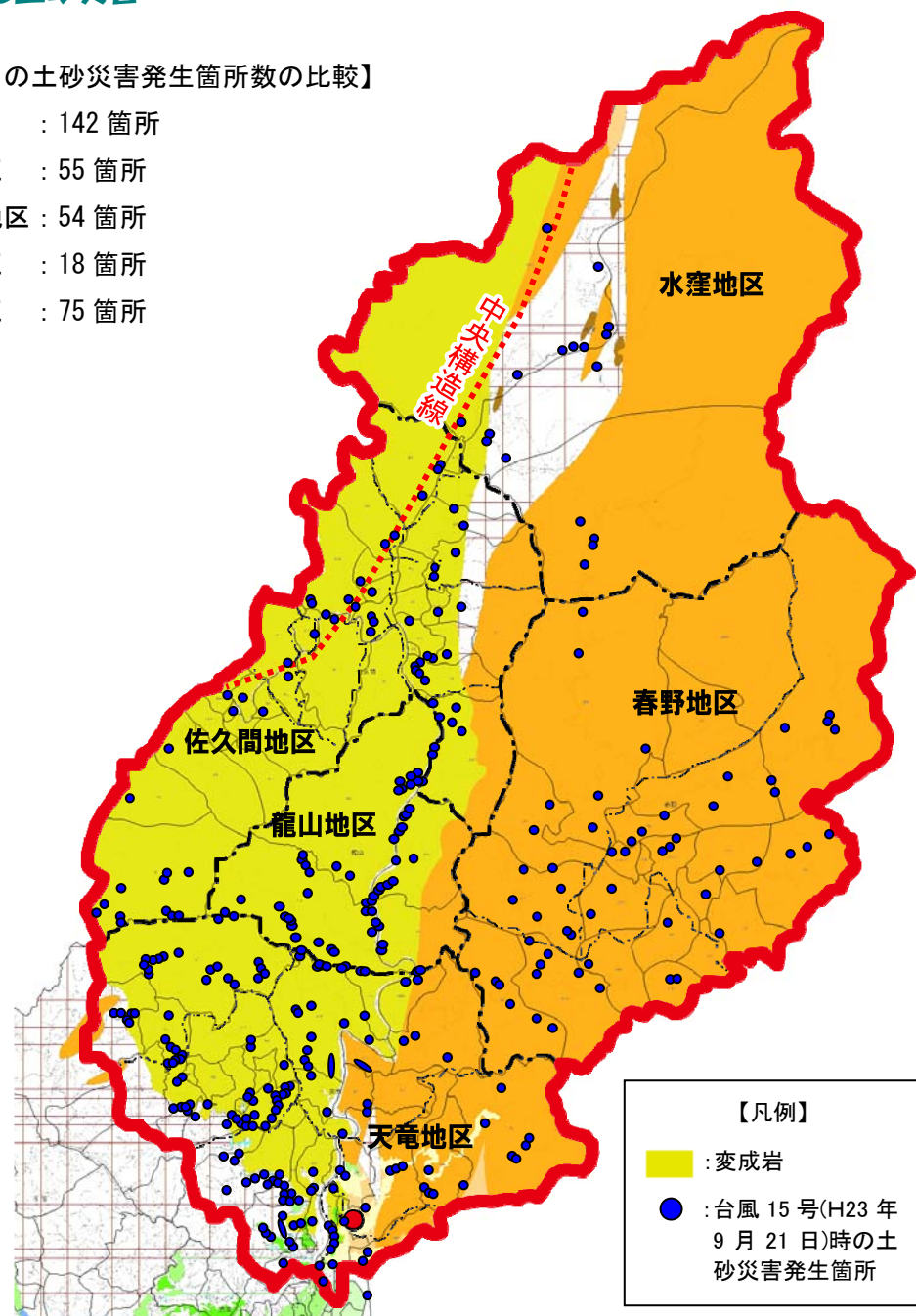
**【変成岩】**

- 非常に硬い地盤である。しかし、薄く平行に割れやすくなっている部分もあり、風化土層の厚いところや山地斜面では地すべり・山崩れに注意が必要である。

■地形・地質と土砂災害

【地区ごとの土砂災害発生箇所数の比較】

- ・天竜区 : 142 箇所
- ・春野地区 : 55 箇所
- ・佐久間地区 : 54 箇所
- ・水窪地区 : 18 箇所
- ・龍山地区 : 75 箇所



・平成 23 年 9 月に発生した台風 15 号による土砂災害発生箇所（国・県道の被害のみ）より、中央構造帯とその地殻変動の影響を受けてきた周辺の変成岩（破砕されやすい岩石）で構成される地域において土砂災害が多く分布していることが分ります。

・地区ごとの土砂災害危険箇所数を比較すると、佐久間地区＋龍山地区と、春野地区ではほぼ面積は等しいですが、佐久間地区＋龍山地区（129 箇所）の方が春野地区（55 箇所）多くなっており、中央構造線とその周辺の地質が土砂災害に影響を与えていると考えられます。

・天竜区の土砂災害ハザードマップをみると、中央構想線（左図参照）に沿って「地すべり防止区域」や「地すべり危険箇所」などが帯状（図中の青色破線）に分布していることが分ります。

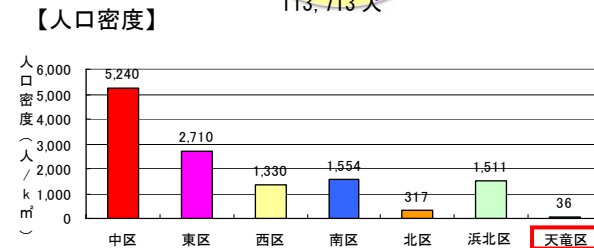
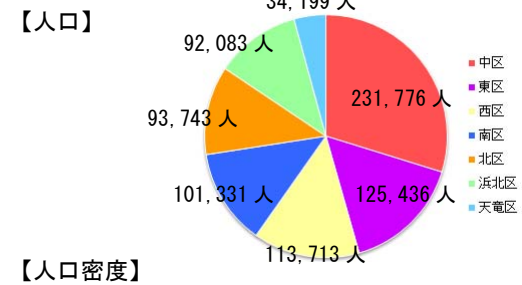
中央構造線のとおり地域では、断層運動により地層が崩れやすくなっており、地すべり、崖崩れに対する十分な注意が必要です。



## 2. 天竜区の社会環境

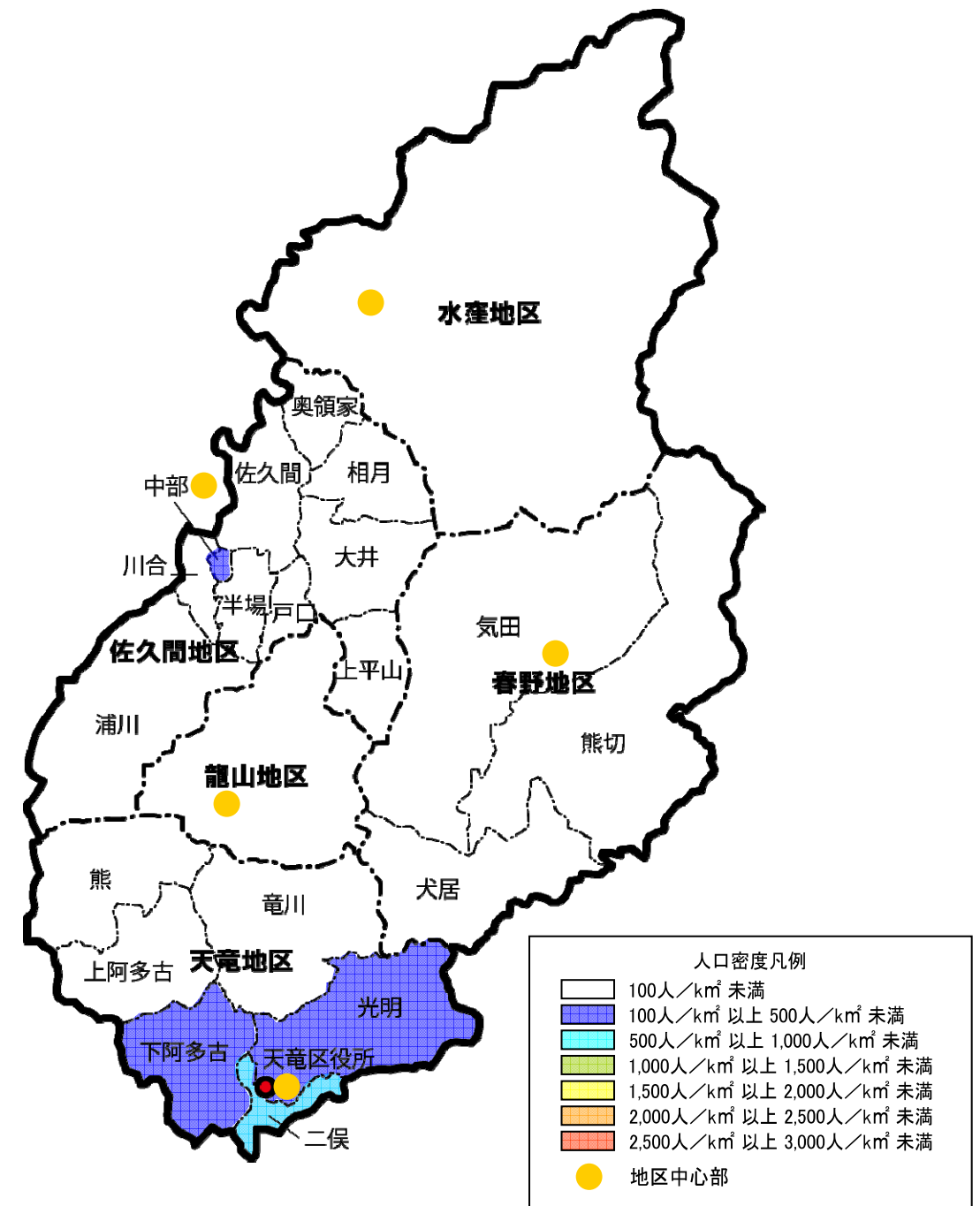
### ①人口・世帯

- ・天竜区は5地区に区分され、人口約34,200人となっています。本市の中でも最も広大な地区面積（約944k㎡）を有し、人口密度は最も低い地区です。
- ・地区別に比較すると天竜地区二俣、佐久間地区中部で比較的人口密度が高くなっていますが、それ以外は多くが100人/k㎡未満となっています。



■天竜区における地区別の人口・世帯数

		天竜地区 (6地域)						小計						
		二俣	光明	竜川	熊	上阿多古	下阿多古							
地区面積 (k㎡)		7.41	41.29	45.23	32.30	28.36	27.20	181.79						
人口 (人)	男	3,229	3,567	737	348	596	1,563	10,040						
	女	3,621	3,678	717	381	649	1,580	10,626						
	合計	6,850	7,245	1,454	729	1,245	3,143	20,666						
世帯数 (世帯)		2,442	2,414	511	267	419	1,468	7,521						
人口密度 (人/k㎡)		924.4	175.5	32.1	22.6	43.9	115.6	113.68						
		佐久間地区 (10地域)										小計		
		浦川	川合	半場	中部	佐久間	奥領家	相月	戸口	上平山	大井			
地区面積 (k㎡)		57.70	6.62	4.93	1.81	25.21	7.42	22.26	6.45	14.59	21.54	168.53		
人口 (人)	男	684	112	132	254	298	171	235	25	35	207	2,153		
	女	758	130	162	306	298	192	271	21	43	242	2,423		
	合計	1,442	242	294	560	596	363	506	46	78	449	4,576		
世帯数 (世帯)		606	113	129	321	288	130	218	20	33	217	2,075		
人口密度 (人/k㎡)		24.99	36.56	59.63	309.39	23.64	48.92	22.73	7.13	5.35	20.84	27.15		
		春野地区 (3地域)			小計		水窪地区	龍山地区	合計					
		犬居	熊切	気田										
地区面積 (k㎡)		32.41	110.32	109.44	252.17	271.28	70.23	944.00						
人口 (人)	男	772	665	1,181	2,618	1,260	437	16,508						
	女	808	730	1,222	2,760	1,422	460	17,691						
	合計	1,580	1,395	2,403	5,378	2,682	897	34,199						
世帯数 (世帯)		594	478	884	1,956	1,226	384	13,162						
人口密度 (人/k㎡)		48.8	12.7	22.0	21.3	9.9	12.8	36.2						



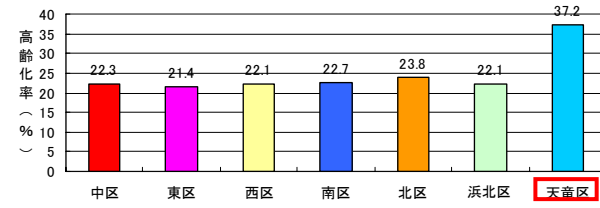
天竜区における地区別の人口・世帯と人口密度

(資料：浜松市統計書 (平成23年10月1日現在))

## ②高齡化率

- ・天竜区全体の高齡化率は約 37%であり、他の区と比較しても 10%以上高い。天竜地区の一部（二俣、光明、下阿多古）以外は 40%以上となっています。
- ・特に、龍山地区とその周辺の佐久間地区の一部では高齡化率 50%以上となっており、最も高齡化率の高い地区（佐久間地区上平山）では約 67%となっています。

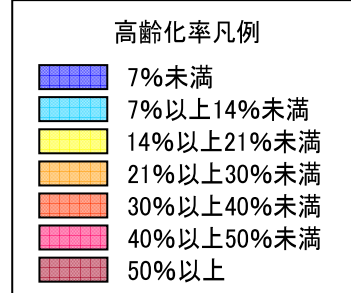
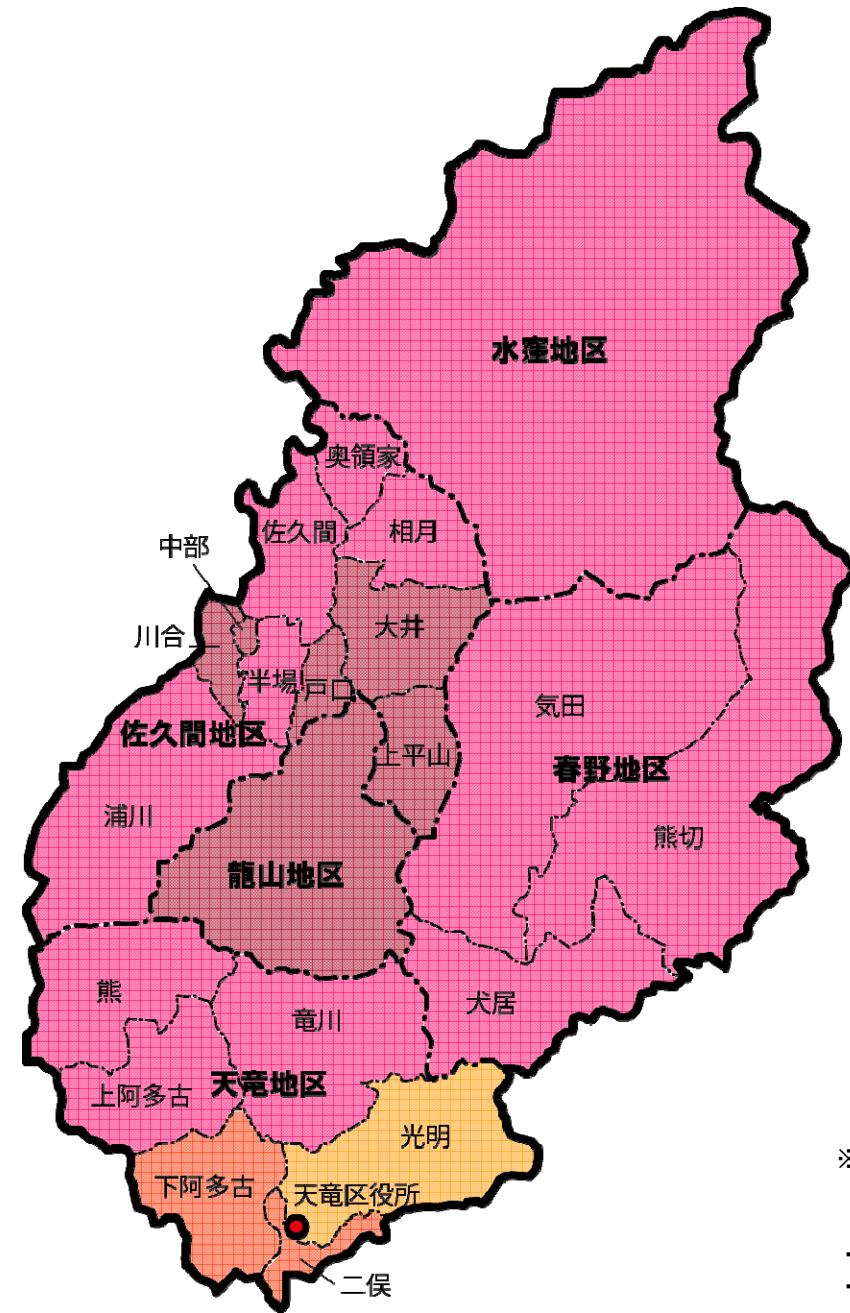
【高齡化率】



■天竜区における地区別の年齢別人口と高齡化率

		天竜地区 (6 地域)						小計
		二俣	光明	竜川	熊	上阿多古	下阿多古	
年齢別人口 (人)	15 歳未満	713	907	80	33	72	216	2,021
	15~64 歳	4,060	4,482	744	348	636	1,944	12,214
	65 歳以上	2077	1856	630	348	537	983	6,431
	合計	6,850	7,245	1,454	729	1,245	3,143	20,666
高齡化率 (%)		30.3	25.6	43.3	47.7	43.1	31.3	31.1
		佐久間地区 (10 地域)						
		浦川	川合	半場	中部	佐久間	奥領家	相月
年齢別人口 (人)	15 歳未満	93	16	18	24	46	25	17
	15~64 歳	641	89	139	229	286	182	239
	65 歳以上	708	137	137	307	264	156	250
	合計	1,442	242	294	560	596	363	506
高齡化率 (%)		49.1	56.6	46.6	54.8	44.3	43.0	49.4
		佐久間地区 (10 地域)			小計			
		戸口	上平山	大井				
年齢別人口 (人)	15 歳未満	0	0	17	256			
	15~64 歳	20	26	159	2,010			
	65 歳以上	26	52	273	2,310			
	合計	46	78	449	4,576			
高齡化率 (%)		56.5	66.7	60.8	50.5			
		春野地区 (3 地域)			小計	水窪地区	龍山地区	合計
		犬居	熊切	気田				
年齢別人口 (人)	15 歳未満	110	81	204	395	164	40	2,876
	15~64 歳	839	734	1,221	2,794	1,201	396	18,615
	65 歳以上	631	580	978	2,189	1,317	461	12,708
	合計	1,580	1,395	2,403	5,378	2,682	897	34,199
高齡化率 (%)		39.9	41.6	40.7	40.7	49.1	51.4	37.2

(資料：浜松市統計書 (平成 23 年 10 月 1 日現在))



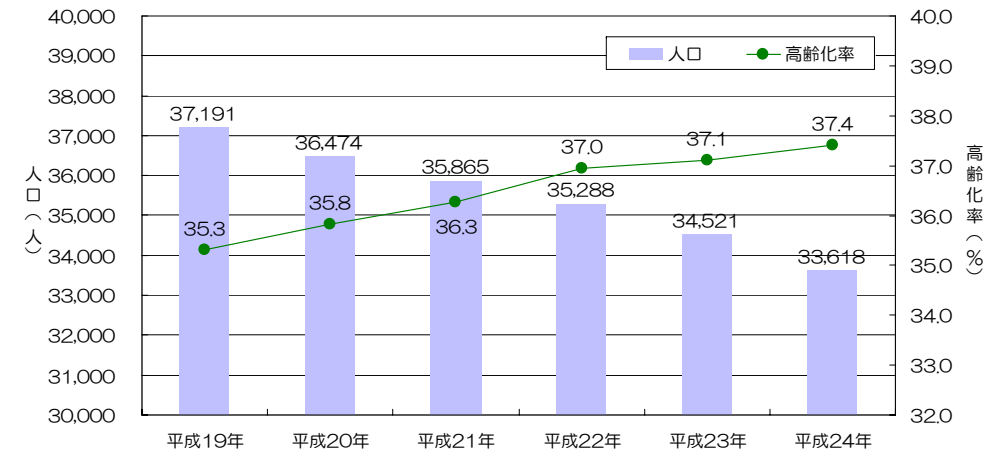
※一般的には高齡化率(総人口に占める 65 歳以上の人口の割合)によって以下のように分類される。

- ・高齡化社会 : 7~14%
- ・高齡社会 : 14~21%
- ・超高齡化社会 : 21%以上

天竜区における地区別の高齡化率

■天竜区の人口と高齡化率の推移

・直近 5 年の人口と高齡化の推移より、人口は平成 19 年から平成 24 年にかけて約 10%減少しています。一方、高齡化率は増加傾向にあります。

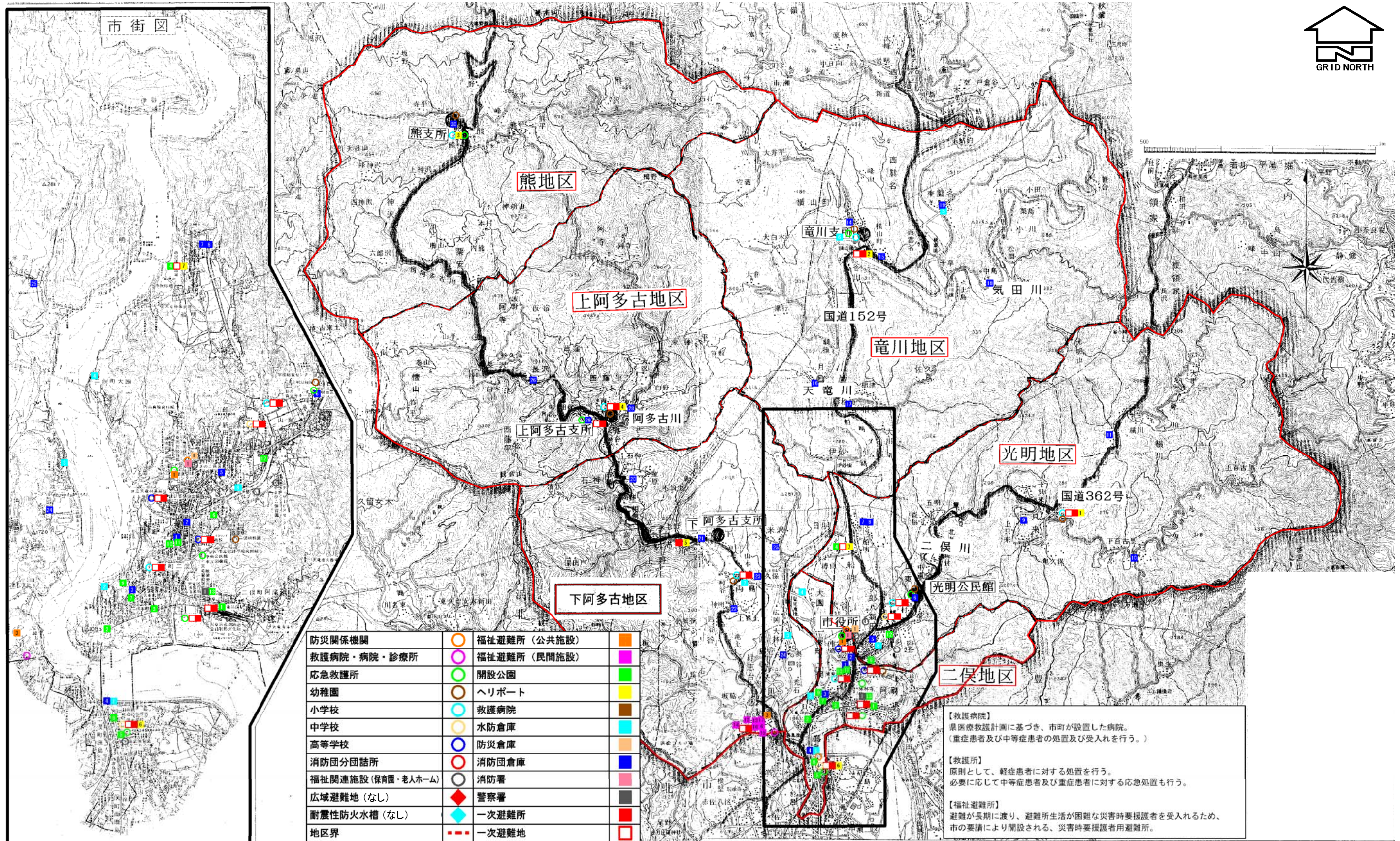


(資料：浜松市統計書 (各年 4 月 1 日現在の人口))



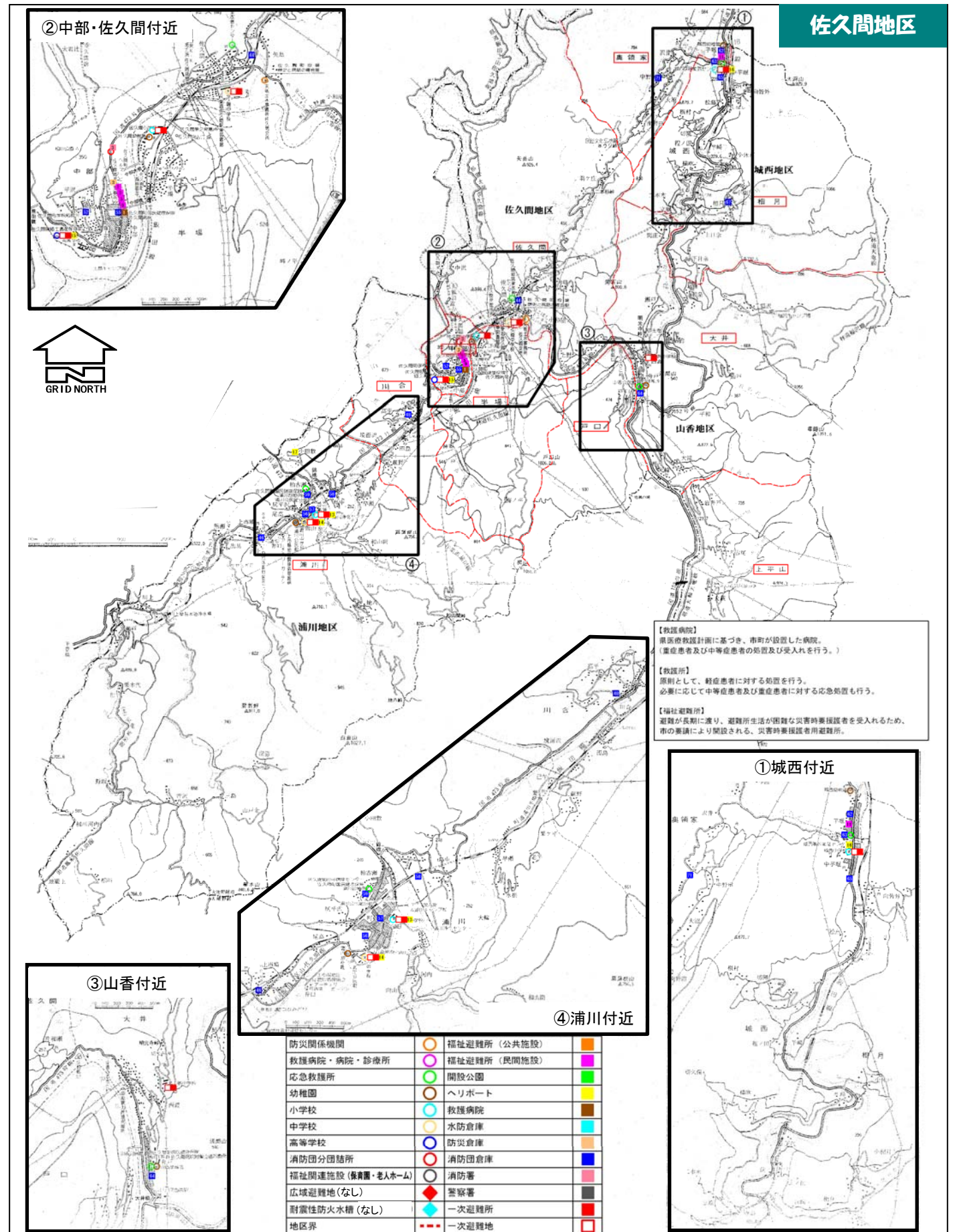
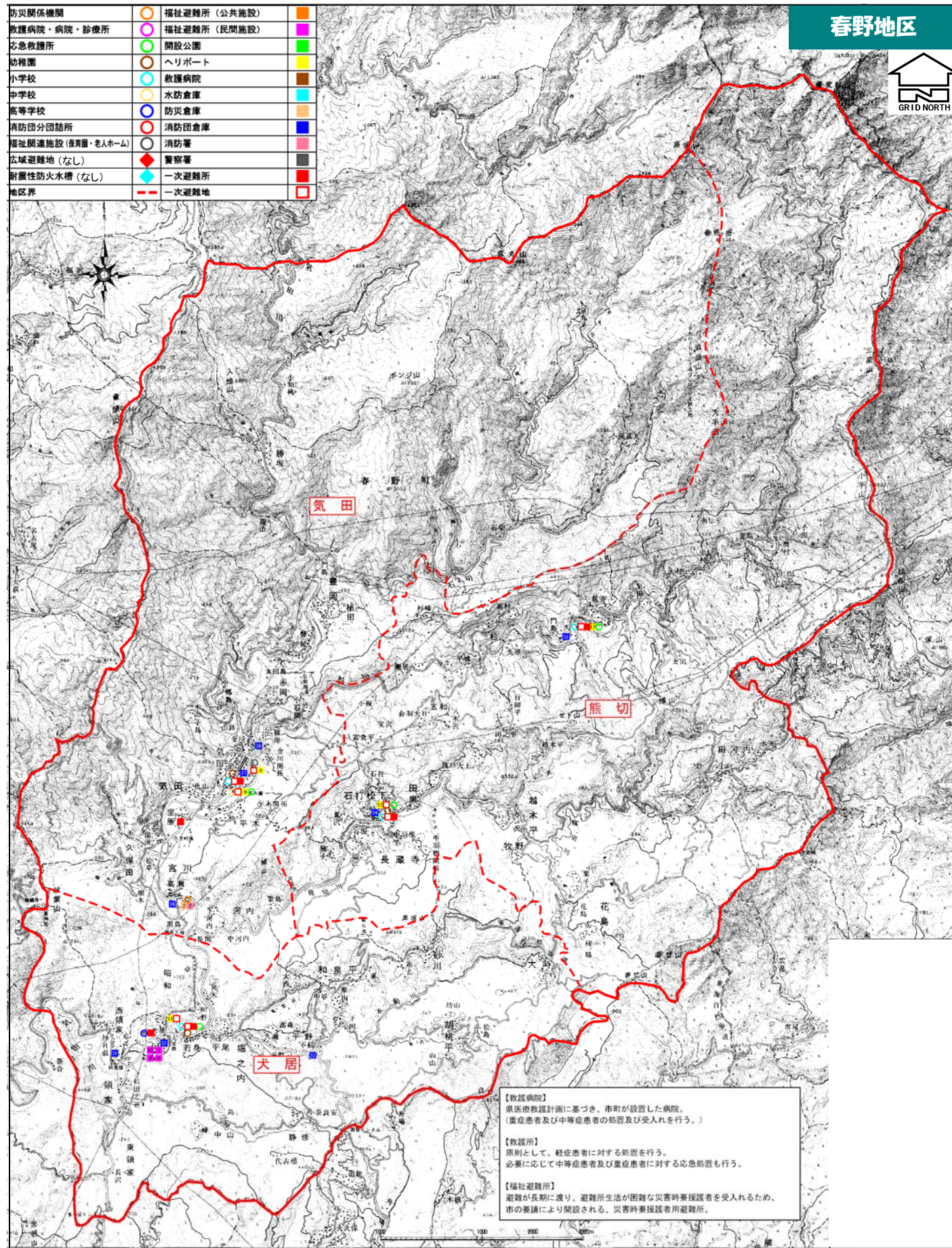
## 2. 天竜区の社会環境 (その2)

### ③災害に関する施設配置 (天竜地区)



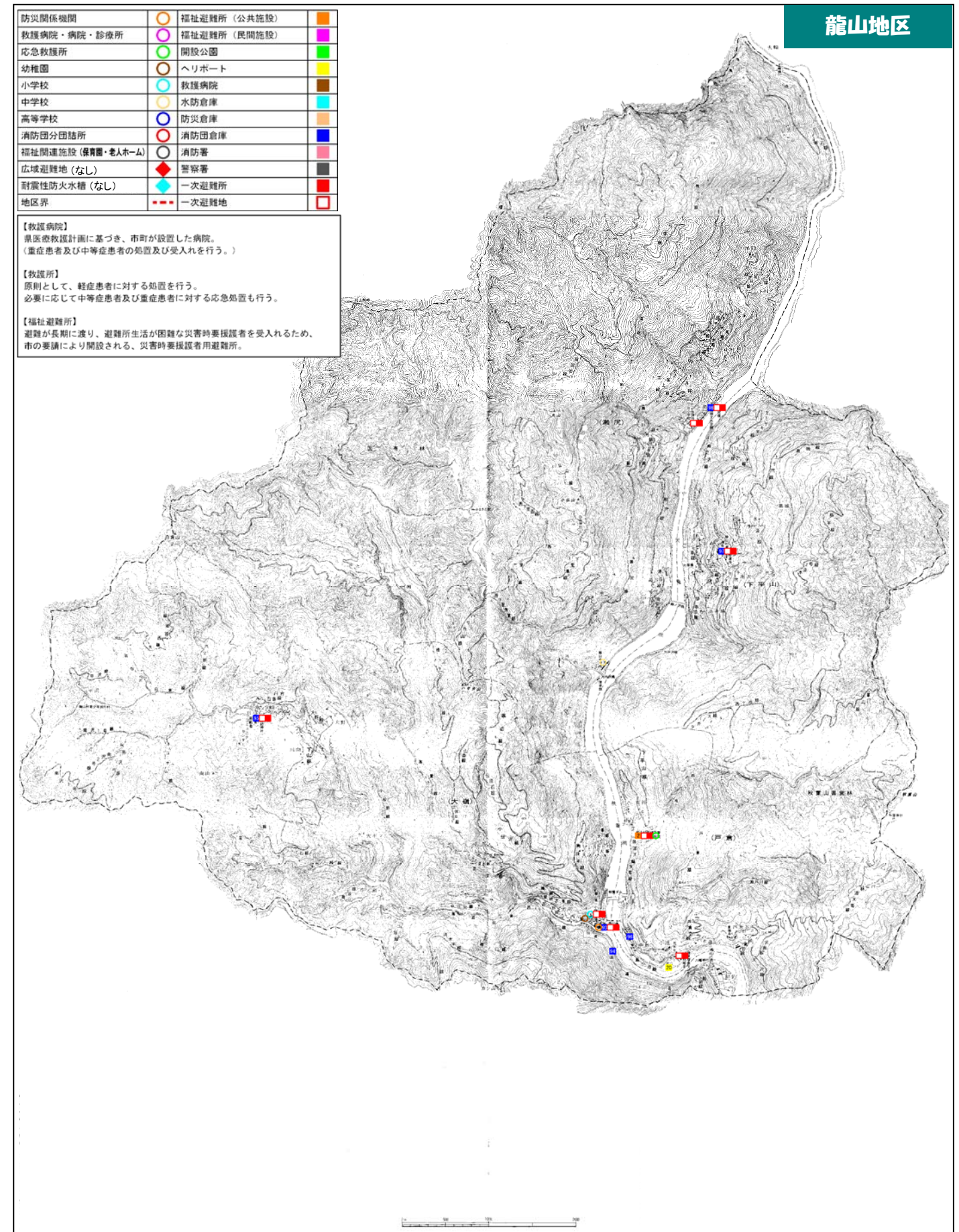
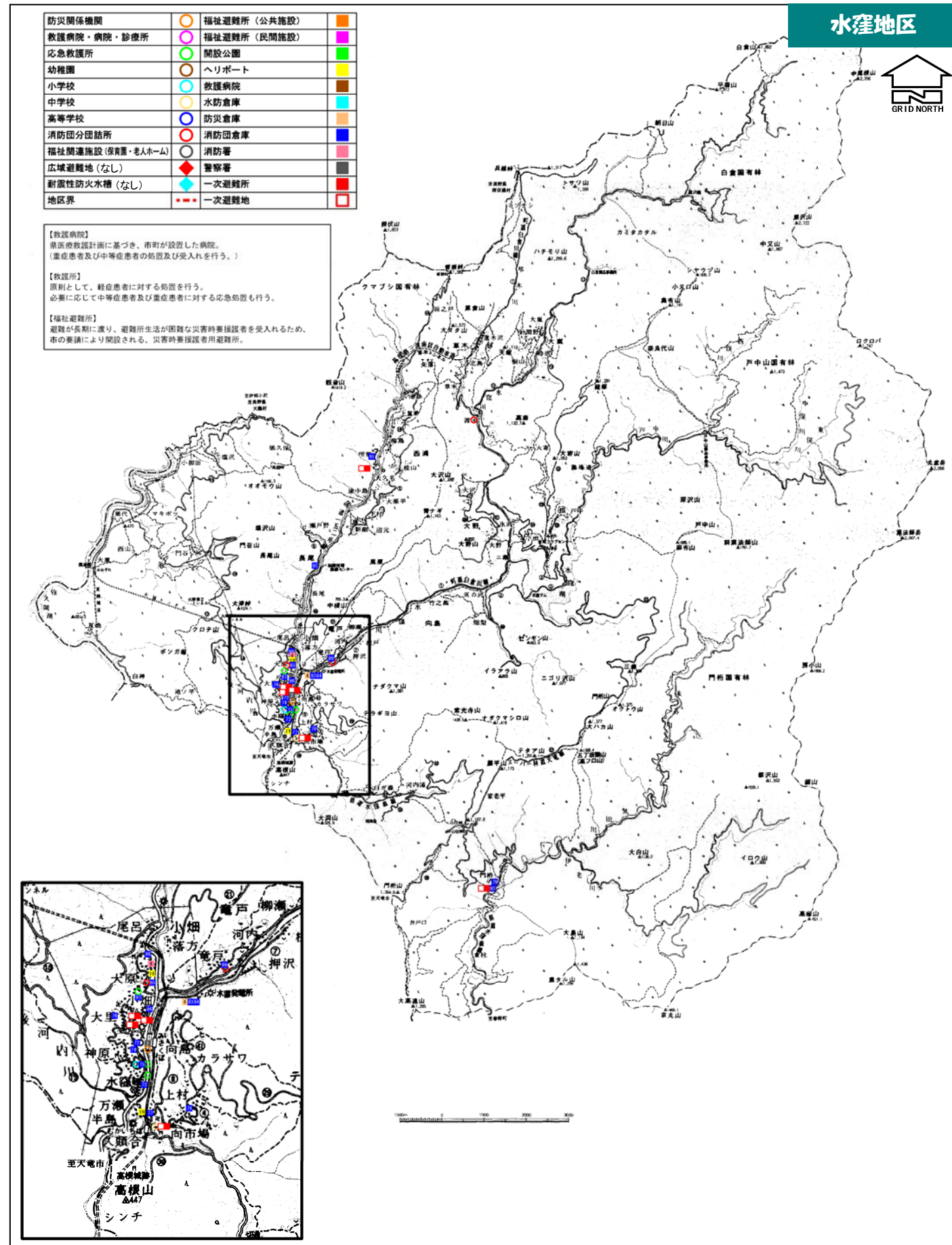


③災害に関する施設配置（春野地区／佐久間地区）





### ③災害に関する施設配置（水窪地区／龍山地区）





#### ④自主防災隊

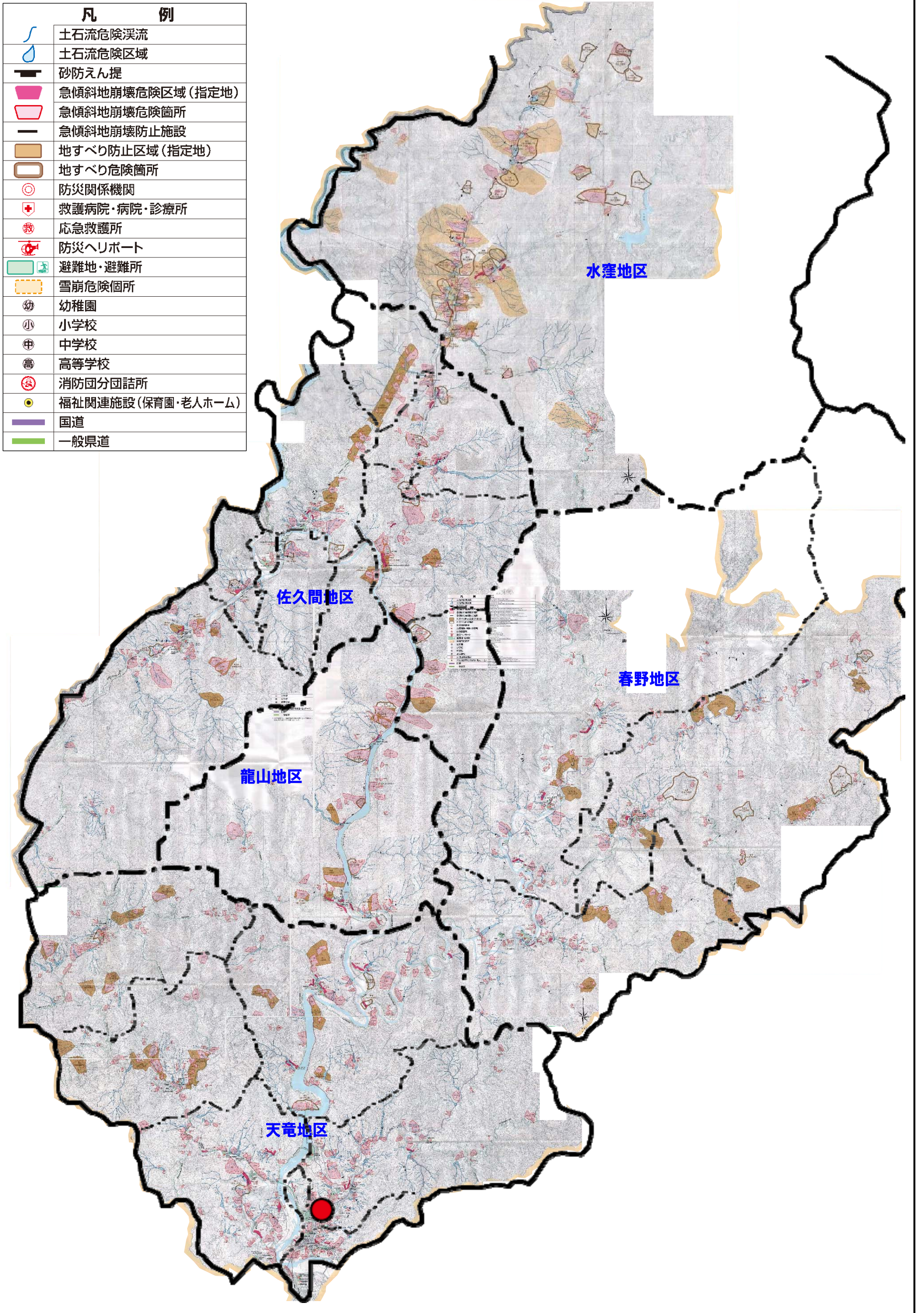
各地区における自主防災隊とそれを構成する世帯数は以下のとおりです。

天竜・二俣		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	大園	笹岡	車道	横町	皆原	中町	諏訪町	神明町	新町	吾妻町	旭町	阿蔵	西古町	本町	
	世帯数	14	60	162	27	62	191	43	40	115	38	58	370	131	139	
		15	16	17	18	19										
天竜・光明		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	北嶺	相生	八幡	山王	船明	栄町	大谷	只来	下百古里	上百古里	横川	大平	水ヶ谷	促進山東	
	世帯数	55	270	308	263	293	320	380	75	44	9	82	30	133	70	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
天竜・竜川		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	東	中村	市場	西区	大井平	安蔵	大白木	大倉	月島	伊砂	相津	佐久	谷山	小川	
	世帯数	50	40	65	32	8	10	12	11	39	13	32	19	25	71	
		15	16													
天竜・熊		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
	自主防災隊名	石打	柴・沢丸	峰・高平	熊平	大地野	坂野	中部	上神沢	峰神沢	西神沢	六郎沢	大栗安区			
	世帯数	16	20	20	17	13	9	65	22	9	17	12	37			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
天竜・上阿多古		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
	自主防災隊名	下落合	上落合	西	西奥	白野	大沢	東藤平	阿寺	芦窪	長沢	懐山				
	世帯数	39	35	54	17	22	14	39	23	37	75	45				
		1	2	3	4	5	6	7	8							
天竜・下阿多古		1	2	3	4	5	6	7	8							
	自主防災隊名	石神	上野	両島	青谷	渡ヶ島	請留	米沢	緑恵台							
	世帯数	95	95	94	128	110	65	33	224							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
春野・犬居		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
	自主防災隊名	東領家	西領家	犬居	若身	昭和	平尾	平野	静修	胡桃平	和泉平	砂川	大時			
	世帯数	61	61	100	78	33	37	43	20	13	59	36	13			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
春野・熊切		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
	自主防災隊名	長蔵寺	熊切	筏戸大上	五和	越木平	田河内	花島	杉第一	杉第二	杉第三	川上第一	川上第二			
	世帯数	84	80	25	31	16	50	24	25	33	40	32	35			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
春野・気田		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	河内	高瀬	久保田	里原	平木	仇山	気田下区	気田中区	気田上区	金川	郷島	山路	赤岡	篠原	
	世帯数	33	34	49	59	62	37	105	97	83	56	20	13	38	25	
		15	16	17	18											
佐久間・浦川		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
	自主防災隊名	吉沢	川上	出馬	沢上	上市場	町	柏古瀬	小田敷	島中	河内	地八	和山間	早瀬		
	世帯数	21	52	34	14	74	170	98	10	42	30	5	8	45		
		1	2													
佐久間・川合		1	2													
	自主防災隊名	神妻	川合													
	世帯数	38	83													
		1														
佐久間・半場		1														
	自主防災隊名	半場														
	世帯数	126														
		1														
佐久間・中部		1														
	自主防災隊名	中部														
	世帯数	262														
		1	2	3	4											
佐久間・佐久間		1	2	3	4											
	自主防災隊名	佐久間	下平	峯	羽ヶ庄											
	世帯数	207	19	20	13											
		1	2													
佐久間・奥領家		1	2													
	自主防災隊名	芋掘	野田													
	世帯数	65	84													
		1	2	3												
佐久間・相月		1	2	3												
	自主防災隊名	松島	横吹	相月												
	世帯数	105	45	71												
		1														
佐久間・戸口		1														
	自主防災隊名	戸口														
	世帯数	22														
		1														
佐久間・上平山		1														
	自主防災隊名	上平山														
	世帯数	32														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9						
佐久間・大井		1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	自主防災隊名	大滝	大輪	仙戸	福沢	和泉鮎釣	間庄	瀬戸	西渡	舟戸						
	世帯数	18	7	9	22	24	11	24	74	30						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
水窪		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	水窪	神原	小畑	竜戸	長尾	西浦	草木	大嵐	大野	向市場	上村	向島	地双	門桁	
	世帯数	104	275	334	50	45	71	14	4	24	103	42	42	5	33	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
龍山		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	西川	大峯	岩明	新道	夏秋	中日向	白倉第一	白倉第二	鮎釣	旧道	戸倉区	中島	雲折	下平山	
	世帯数	23	6	12	7	15	13	25	16	16	10	30	11	30	57	
		15	16	17	18	19	20	21	22	23						
龍山		15	16	17	18	19	20	21	22	23						
	自主防災隊名	下里	青谷	大庭	生島	下茶	中村	寺尾	尾曲	下村						
	世帯数	6	7	11	33	4	22	9	9	11						



⑤ハザードマップ

凡 例	
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	砂防えん堤
	急傾斜地崩壊危険区域(指定地)
	急傾斜地崩壊危険箇所
	急傾斜地崩壊防止施設
	地すべり防止区域(指定地)
	地すべり危険箇所
	防災関係機関
	救護病院・病院・診療所
	応急救護所
	防災ヘリポート
	避難地・避難所
	雪崩危険箇所
	幼稚園
	小学校
	中学校
	高等学校
	消防団分団詰所
	福祉関連施設(保育園・老人ホーム)
	国道
	一般県道

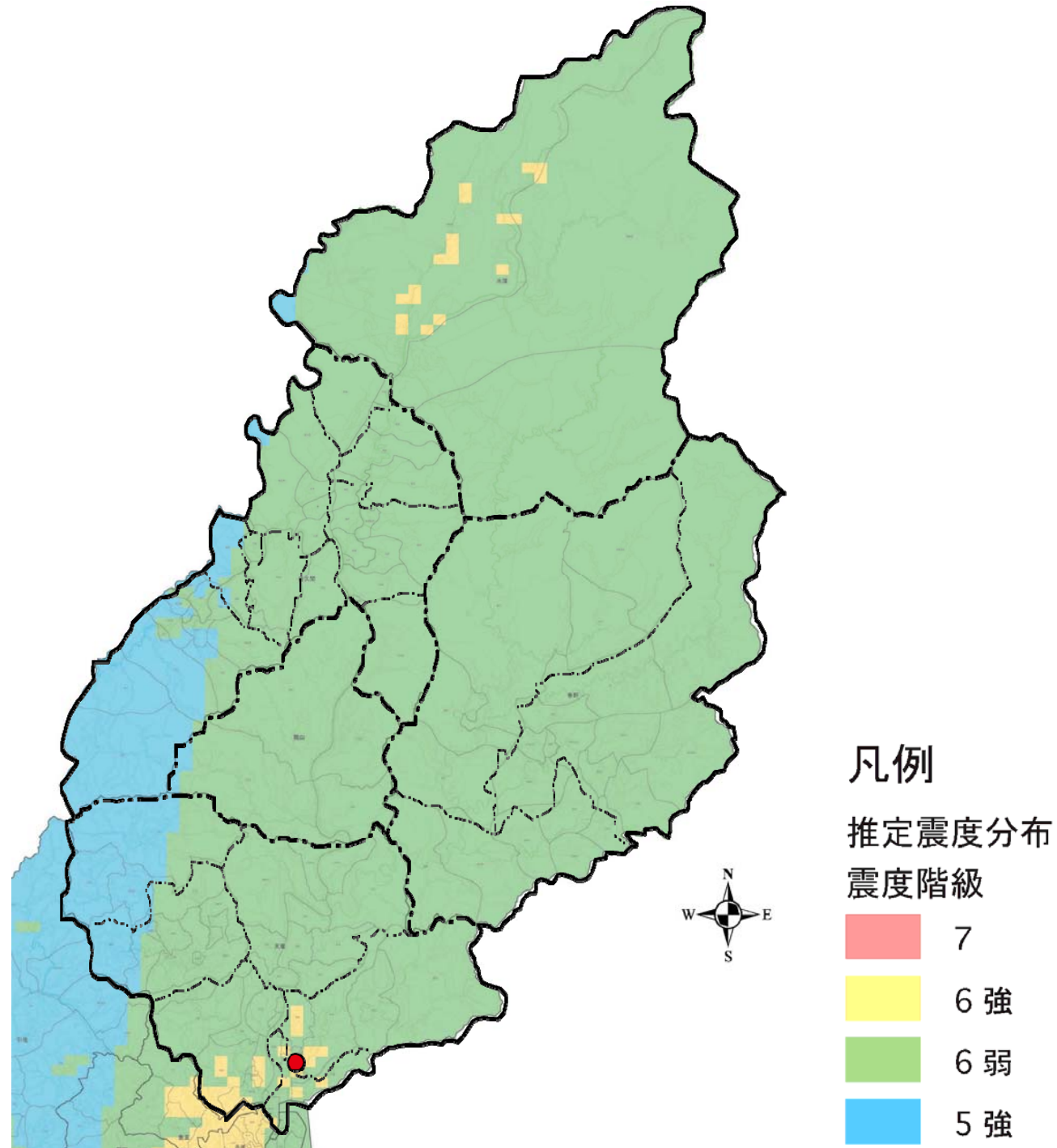




⑥地震被害想定（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

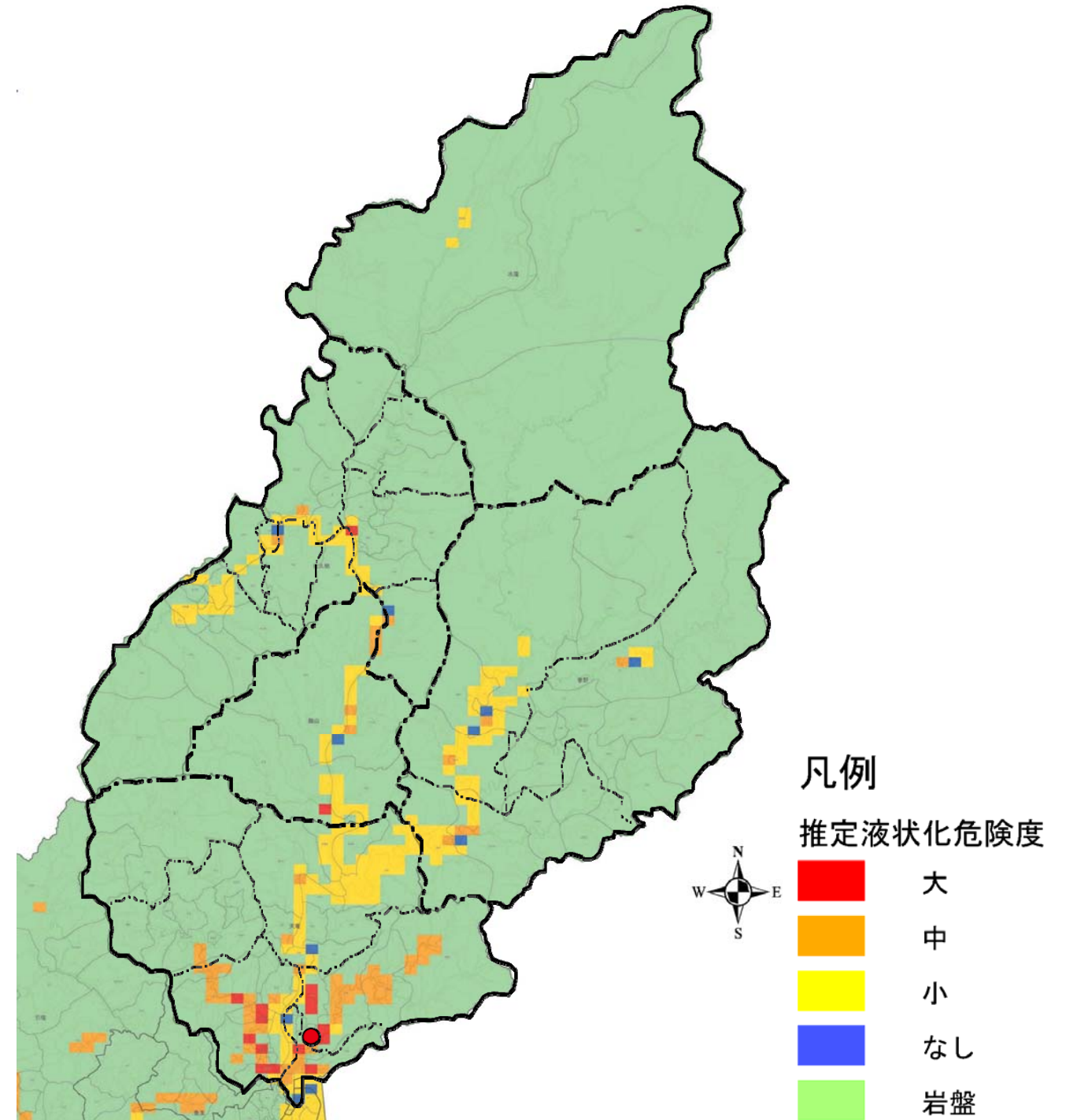
【推定震度分布】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定震度分布は下図のとおりです。
- ・区全体は概ね「震度6弱」と想定されています。



【推定液状化危険度】

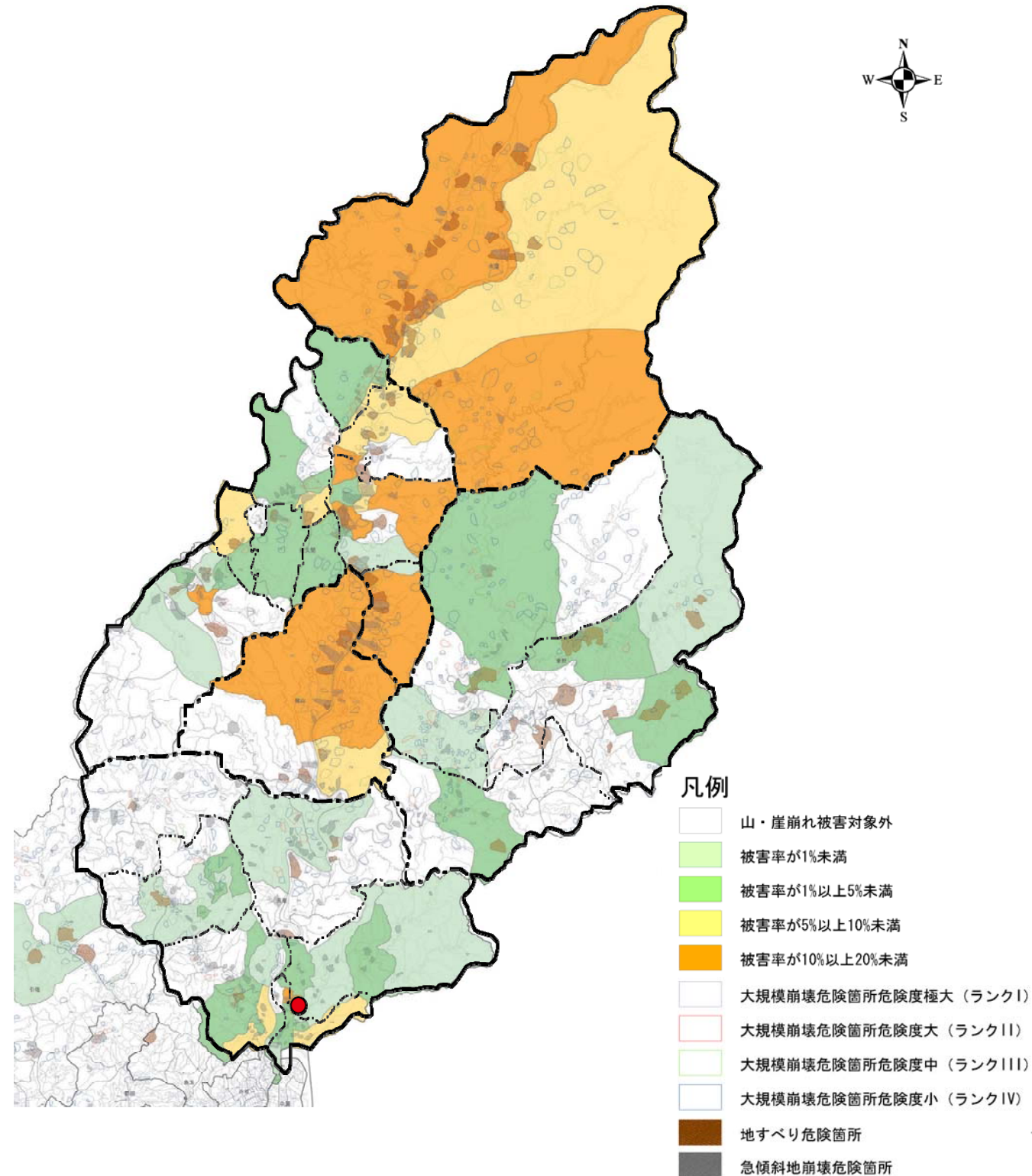
- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定液状化危険度は下図のとおりです。
- ・区全体は概ね対象外（凡例：岩盤）ですが、天竜地区の二俣で危険度「大」、阿多古川、二俣川沿線で危険度「中」、天竜川、大千瀬川、気田川沿線で危険度「小」と想定されています。





### 【山・崖崩れによる建物被害想定】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による山・崖崩れによる建物被害想定は下図のとおりです。
- ・「水窪地区」、「龍山地区」、「佐久間地区」の東側で建物被害率が5%以上20%未満と想定されています。





### 3. 天竜区における過去の災害履歴

・かつては豪雨に伴って天竜川やその支線（二俣川、気田川等）の洪水等に関する記録が多い傾向にありましたが、その後の河川改修等により水害は徐々に減少してきました。ここおおよそ30年間では土砂災害に関する記録が多い傾向にあります。

・台風15号（平成23年9月21日）時には、区全体で300箇所以上の土砂災害が発生しています。（詳細は次々頁参照）

■天竜区における既往災害履歴(1/2)

西暦	和暦	災害	被害概要	地震	風水害	津波・高潮	土砂災害
1631	寛永8	天竜川洪水	・北鹿島(天竜地区)の往行寺流失		○		
1658	万治1		・相津(天竜地区)で大水にて用水流出		○		
1685	貞享2		・龍山地区で強い有感地震(余震2、3回)	○			
1705	宝永2	天竜川洪水	・船明(天竜地区)まで1417間堤防決壊、船明で89戸、北鹿島で28戸が流失 ・山崩れ発生(佐久間地区)		○		○
1718	享保3	地震	・水窪地区で震度5	○			
1719	享保4	天竜川満水	・北遠の堤防所々欠落、相津の小松崎堤100間決壊 ・二俣全地域が冠水して何日も水引かず、交通途絶 ・北鹿島村で4軒流出		○		
1735	享保20	二俣川・天竜川氾濫、満水	・北遠各地で道路・橋梁大破		○		
1740	元文5	雷雨による洪水	・浦川(佐久間地区)で田畑大流れ		○		
1753	宝暦3	阿多古川出水 天竜川増水	・2丈5尺増水 ・船明(天竜地区)で家屋浸水、田畑大被害		○		
1765	明和2	大雨にて天竜川大満水	・船明(天竜地区)で常水より3丈余出水 ・田畑大被害		○		
1767	明和4	天竜川洪水	・大谷、山東(天竜地区)で田畑大被害		○		
1774	安永3	天竜川満水	・大千瀬川通・相川通1丈8尺増水、御普請所大破、畑岸決壊、大千瀬川通水5・6軒潰れる(佐久間地区)		○		
1778	安永7	大千瀬川大増水	・相川1丈余増水、川除御普請流失(佐久間地区)		○		
1782	天明2	天竜川洪水 天竜川筋大洪水	・船明(天竜地区)で堤決壊、家屋多数流失 ・渡ヶ島、大藪(天竜地区)で破堤		○		
1789	寛政1	二俣川洪水	・二俣(天竜地区)南部和田・城下・矢崎の田畑一面泥流入、土砂3.4尺堆積		○		
1794	寛政6	二俣川氾濫	・二俣(天竜地区)で12軒流失、死者9人		○		
1800	寛政12	天竜川洪水	・川口堤決壊、二俣(天竜地区)で浸水家屋多数		○		
1801	享和1	天竜川洪水	・山東、川口(天竜地区)で堤防決壊		○		
1802	享和2	天竜川洪水	・川口堤決壊、二俣(天竜地区)で浸水家屋多数		○		
1812	文化9	二俣川氾濫	・只来(天竜地区)で山崩れ ・河川満水で全壊3軒、半壊8軒、山東も被害		○		○
1816	文化13	大風雨で天竜川満水	・川口堤防93間決壊し、翌月も洪水が発生 ・大谷(天竜地区)で堤防30間決壊		○		
1820	文政3	大風雨 天竜川満水	・山崩れ(佐久間地区)				○
1828	文政11	風雨 天竜川大洪水	・船明(天竜地区)で12戸流失30戸潰れる ・相津(天竜地区)で1戸流失5戸破損、小松崎堤防押切れるほか		○		
1836	天保7	風雨 天竜川増水	・船明(天竜地区)で全壊6戸、大破54戸など		○		
1850	嘉永3	天竜川・二俣川満水	・船明(天竜地区)で45軒流失		○		
1854	安政1	安政東海地震(M=8.4)	・二俣(天竜地区)で震度5~6程度	○			
1887	明治20	台風	・二俣(天竜地区)で全壊22棟、半壊12棟		○		
1889	明治22	天竜川洪水	・川口、北鹿島(天竜地区)で堤防決壊、家屋全壊7戸他		○		
1892	明治25	暴風雨	・二俣(天竜地区)で全壊22棟、半壊12棟		○		
1904	明治37	台風による天竜川増水	・竜川で流失19棟、全壊2棟、半壊35棟 ・二俣(天竜地区)で床上浸水76棟 ・龍山地区で流失27棟、全壊3棟、半壊28棟、床上浸水27棟、床下浸水29棟、山崩れ1000ヶ所 ・気田川で増水し、浸水家屋200戸(春野地区)		○		○

■天竜区における既往災害履歴(2/2)

西暦	和暦	災害	被害概要	地震	風水害	津波・高潮	土砂災害
1911	明治44	台風 天竜川など大小河川氾濫	・横山(龍山地区)で被害大(家屋流失9戸、全壊3戸、半壊30戸、床上浸水232戸、床下浸水55戸、道路崩落破損8ヶ所など) ・二俣・光明(船明、山東)でも被害大		○		○
1926	昭和1	台風	・二俣(天竜地区)で全壊3棟、半壊89棟、床上浸水96棟、龍山地区で全壊27棟、半壊23棟		○		
1941	昭和16	集中豪雨	・二俣(天竜地区)で死者行方不明2人、全半壊流失家屋36戸、床上浸水610戸、床下浸水380戸		○		
1944	昭和19	東南海地震(M=7.9)	・二俣・光明で震度4~5	○			
1947	昭和22		・二俣(天竜地区)から出水、全焼100棟、半壊8棟		○		
1954	昭和29	風水害	・佐久間地区で死者5人、全壊家屋2戸		○		
1958	昭和33	台風17号 雷雨	・水窪地区で崖崩れのため3人行方不明 ・龍山地区で山崩れにより1人死亡				○
1959	昭和34	台風	・大嶺(龍山地区)で全壊47戸、半壊97戸などの被害 国道は倒木のため交通が途絶		○		
1961	昭和36	豪雨	・天竜~水窪間の道路が冠水、決壊5箇所 ・雲名、小川、相津(天竜地区)で流出家屋4戸、床下浸水150戸		○		
1962	昭和37	豪雨	・天竜地区にて田畑冠水、道路・橋に被害		○		
1963	昭和38	雷雨	・春野地区の国有林で土砂崩れ死者1人				○
1965	昭和40	台風による暴風雨	・天竜川は浦川(佐久間地区)で氾濫		○		
1967	昭和42	天竜川上流地方集中豪雨	・春野地区で床上浸水2棟、床下浸水90棟		○		
1968	昭和43	台風10号	・天竜地区で床上浸水161戸、床下浸水123戸、山崩れ21箇所など		○		○
1971	昭和46	台風23号	・天竜地区で半壊1戸、床下浸水28戸、山崩れ4箇所など		○		○
1973	昭和48	大雨	・水窪地区などで土砂崩れ		○		○
1974	昭和49	七夕豪雨(台風8号)	・天竜地区で全壊16戸、半壊2戸、床上浸水994戸、床下浸水972戸、山崩れ84箇所など		○		○
1979	昭和54	台風20号(10/19降雨量(熊):275mm)	・天竜地区で床上浸水17戸、床下浸水22戸、崖崩れ30箇所など ・佐久間地区で全壊1戸、床下浸水10戸、崖崩3箇所など		○		○
1983	昭和58	台風10号(9/28降雨量(熊):230mm)	・龍山地区で山崩れ ・3人死亡、大嶺(龍山地区)で県道が崩れ3人が崩土とともに西川に転落				○
1991	平成3	台風18号(9/19降雨量(熊):262mm)	・水窪地区で土石流発生、道路寸断による孤立地域発生 ・死者1人、重傷1人、全壊5戸、半壊3戸、床上浸水11戸、床下浸水68戸		○		○
1995	平成7	台風12号(9/16~17降雨量(佐久間):98mm)	・佐久間地区の県道で土砂崩れ、死者1名、重傷1名の被害		○		○
2011	平成23	台風15号(9/21最高時間雨量(龍山町):91mm)	・下阿多古にて床上浸水発生 ・山・崖崩れ300箇所以上(次々頁参照)		○		○

(資料:静岡県史、天竜市史、佐久間町史、春野町史、水窪町史、龍山村誌、静岡県地震防災センターHP、気象庁HP)



■過去の主な災害発生箇所



0 1km 2km



【凡例】

- : 風水害
- : 土砂災害
- : 鉄道
- : 国道/県道
- : 主な河川

0 1km 2km 4km 6km 8km 10km

■過去の災害状況



旧二俣川氾濫 (S16・集中豪雨)  
(出典: 天竜市史)



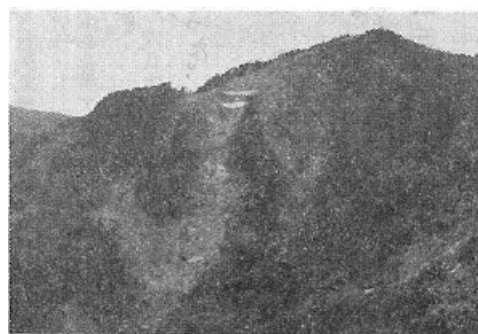
山東新田地区の被害の様子 (S16)  
(出典: 天竜市史)



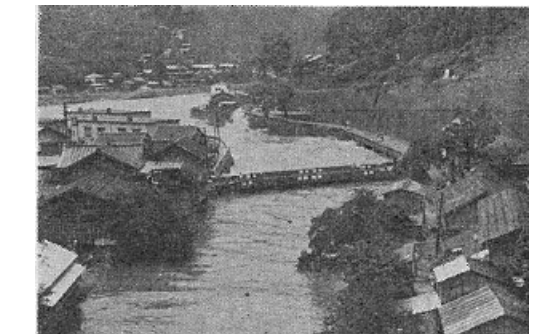
水窪地区における集中豪雨の様子 (S36)  
(出典: 水窪町史)



水窪川の増水 (S57、集中豪雨)  
(出典: 水窪町史)



瀬尻不動沢山崩れ (龍山地区)  
(出典: 龍山村誌)



集中豪雨による出水の西川付近 (S36、龍山地区)  
(出典: 龍山村誌)



**■台風15号(平成23年9月21日)  
による災害発生箇所**

**【台風15号の気象状況】**

**●気象警報等**

- ・暴風・洪水警報（静岡地方气象台）
- ・土砂災害警戒情報
- ・同報無線（避難準備情報、避難勧告、土砂災害警戒情報）

**●雨量**

- ・最高時間雨量（龍山町）：91mm

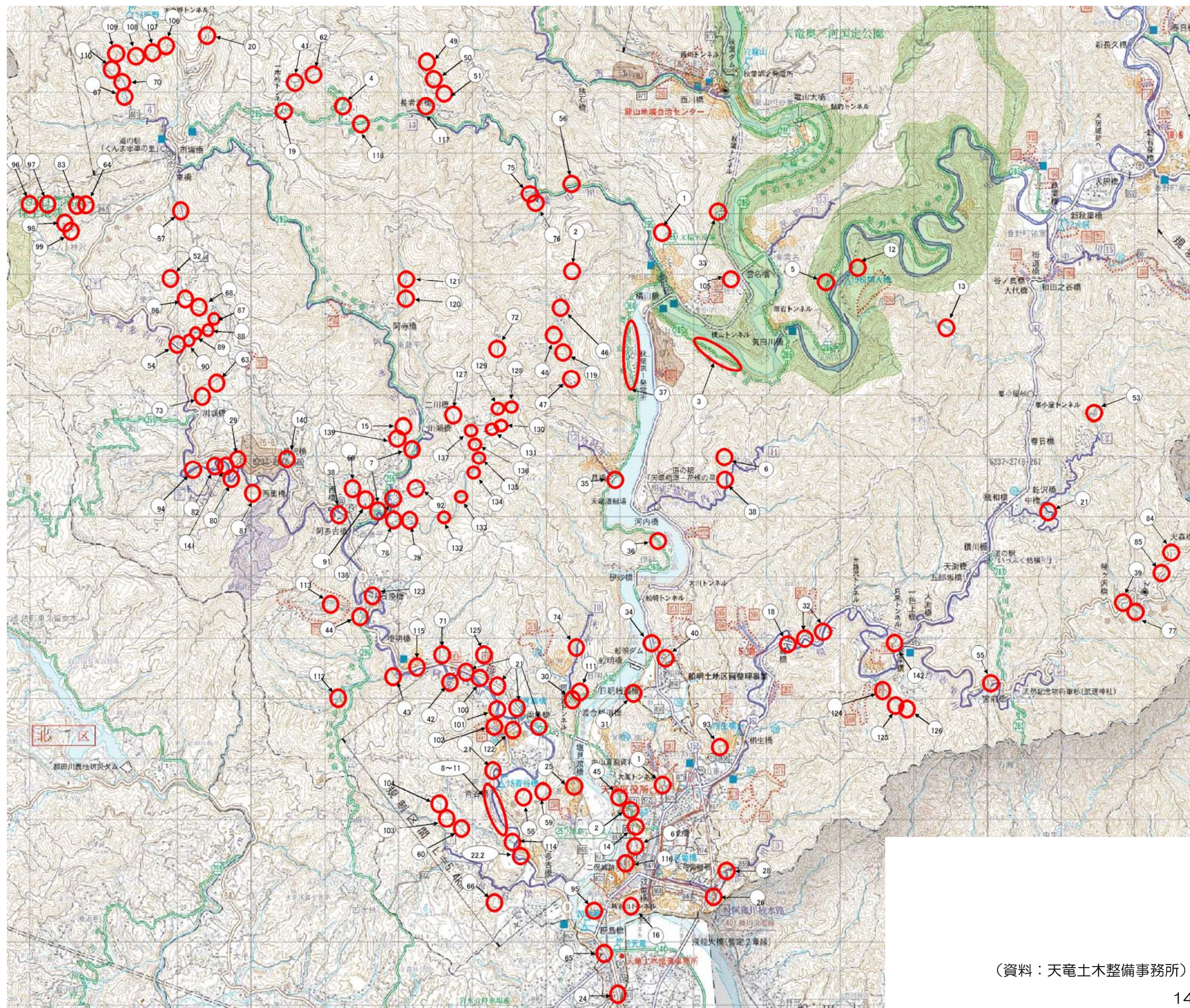
**●避難勧告**

- ・水窪町12地区（444世帯）
- ・春野町川上地区外山（5世帯）

**●地区ごとの発生箇所数の比較**

天竜地区	142箇所
春野地区	55箇所
佐久間地区	54箇所
水窪地区	18箇所
龍山地区	79箇所

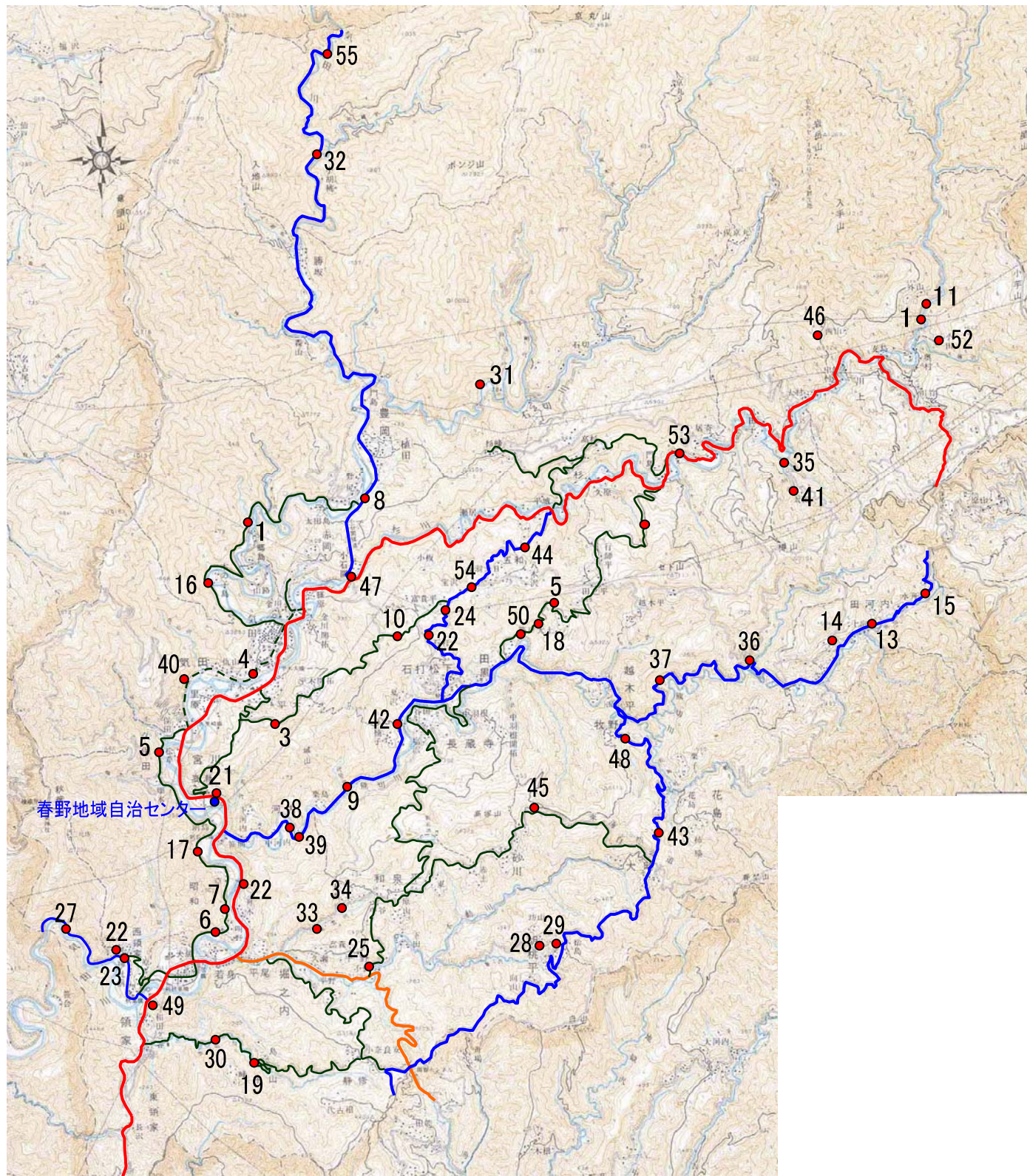
**■天竜地区（142箇所）**



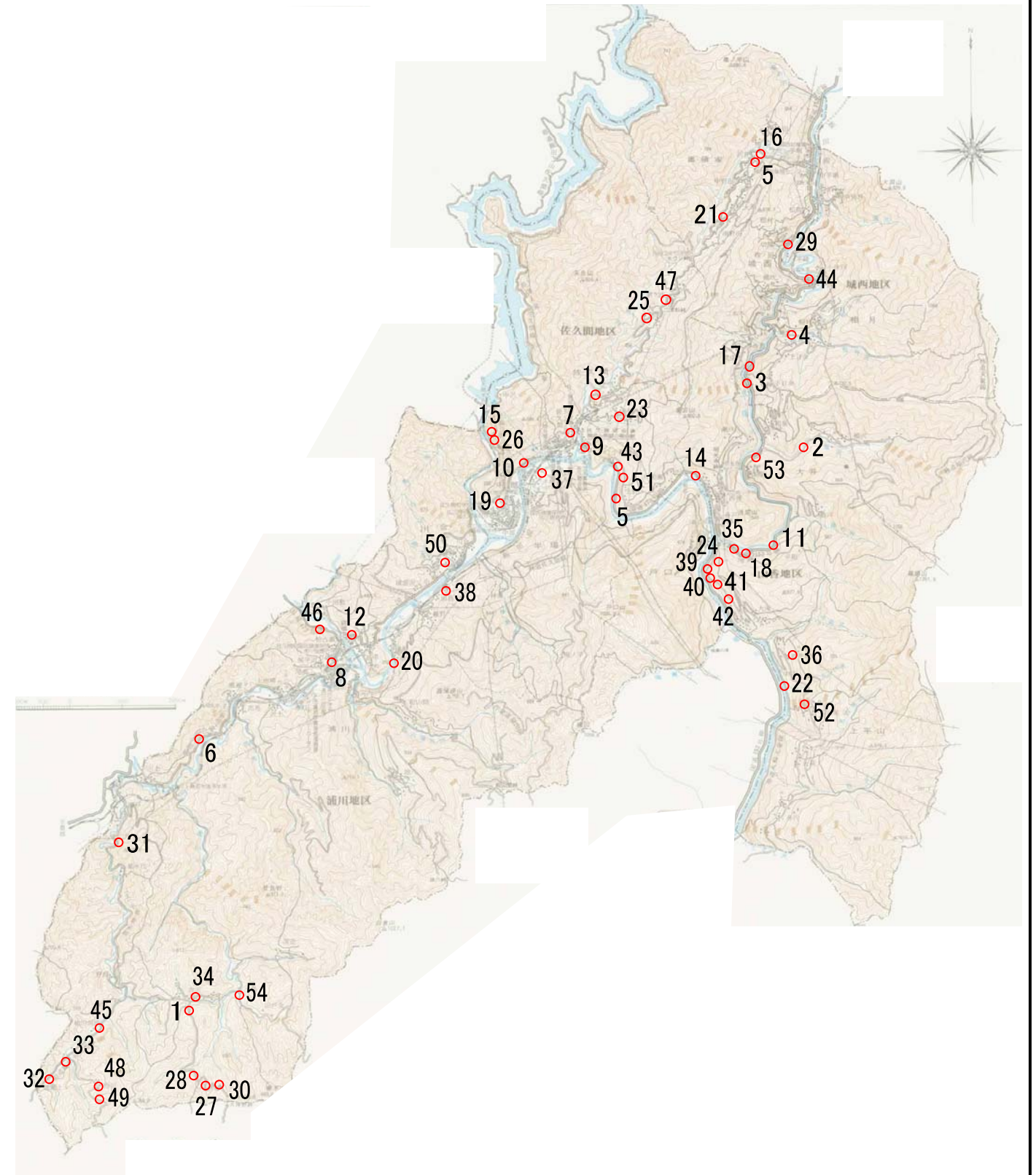
（資料：天竜土木整備事務所）



■春野地区 (55箇所)



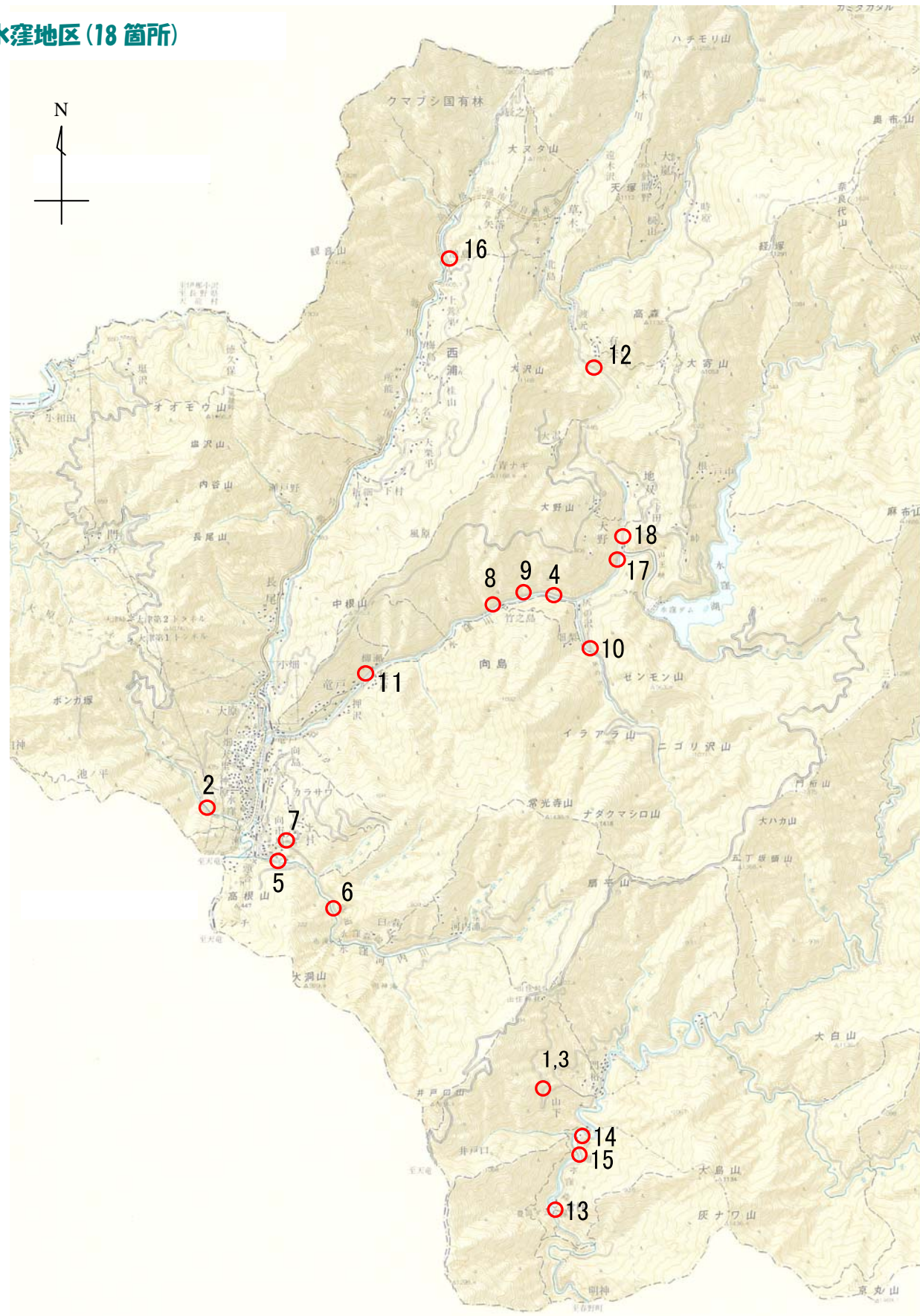
■佐久間地区 (54箇所)



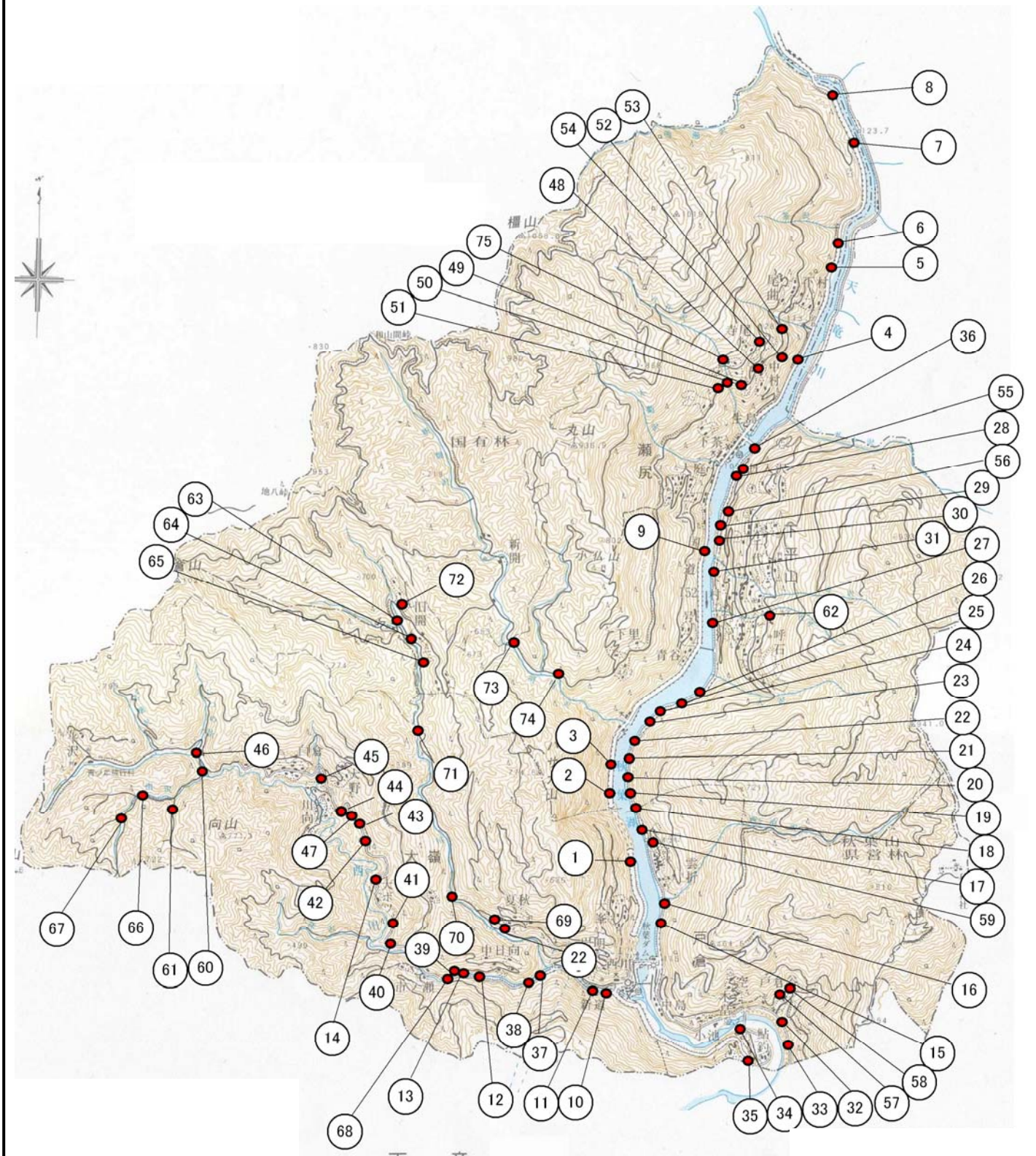
(資料：天竜土木整備事務所)



■水窪地区(18箇所)



■龍山地区(75箇所)



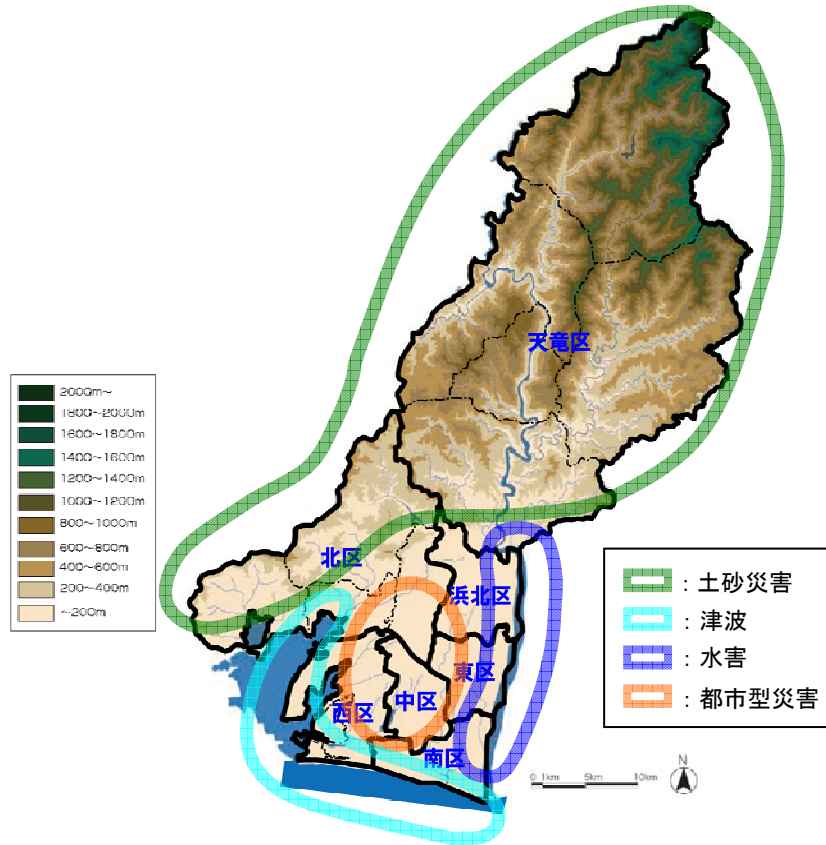
(資料：天竜土木整備事務所)



## ■天竜区の災害特性

### ■浜松市の災害特性と区版避難行動計画策定の進め方

- ・浜松市の災害特性は、地形や市街地の形成過程などから、大きくは下図に示すように、「土砂災害」「津波」「水害」「都市型災害」の4つに分類されます。
- ・区版避難行動計画の策定にあたっては、主に区の特徴的な災害について議論しながら進めます。



#### 【自然条件】

- ・天竜川及びその支流沿いの流域山地、谷底低地、段丘などからなる山間地です。

#### 【災害の履歴】

- ・豪雨などによる天竜川及び支流の洪水、土砂災害が数多く発生しています。

#### 【ハザードマップ、地震被害推定】

- ・地すべり危険箇所、土石流危険区域、急傾斜地崩落危険区域等が多く分布しています。
- ・地震に伴う山・崖崩れの被害が想定されています。

### ■各区の災害特性一覧

区	地震	水害	津波	土砂災害
中区	◎	○		○
東区	○	◎		
西区	○	○	◎	○
南区	○	○	◎	
北区	○	○	○	◎
浜北区	○	◎		○
天竜区	○	○		◎